

行田タワー

全国発射プロジェクト

～クラウドファンディング型ふるさと納税・
企業版ふるさと納税で地域を応援！～

目標金額
2,400万円

「行田タワー」にサイン(看板)を設置します！

古代蓮の里にある古代蓮会館展望室は、地上50mから市内を一望できる県内唯一のタワーとして、毎年多くの方が訪れる市を代表するランドマークとなっています。

また、令和5年に公開された映画「翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～」に登場したこともあり、年間来場者数も13万人を超えています。令和6年には、全日本タワー協議会にも加盟し、さらに注目を集めています。

この度、タワーの正式名称を「行田タワー」とし、サイン(看板)をタワー側面に設置しお披露目することとしました。「行田タワー」を全国に「発射」し、多くの方に行田の魅力を紹介していきたいと考えています！

CF型・企業版ふるさと納税により寄附を募ります！

本プロジェクトは、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税による寄附を活用して実施いたします。プロジェクトへの寄附を通じて、一緒に行田市という名前を全国に発信していきましょう！

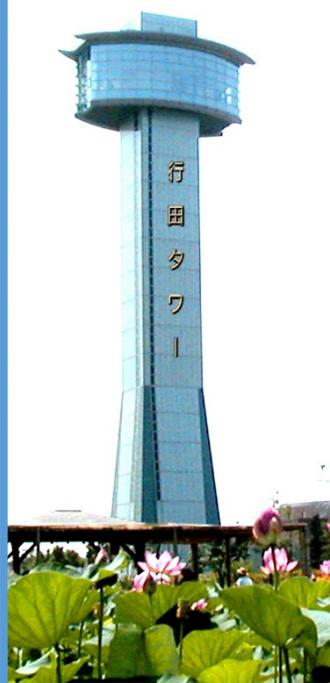
皆様からの温かいご支援をお待ちしています。

寄附の流れ、詳細については、裏面をご覧ください。

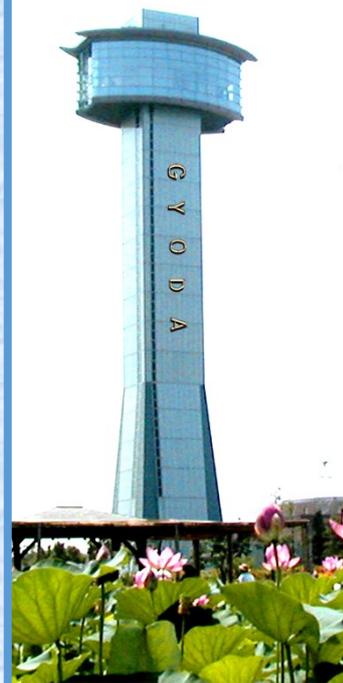
行田タワー側面へのサイン(看板)設置のイメージ

タワーの側面のサイン(看板)は以下のイメージで設置する予定です。

北側
(園内側)



南側
(田んぼアート側)



寄附の流れ・詳細については裏面をご覧ください



個人の方…クラウドファンディング型ふるさと納税による支援の流れ

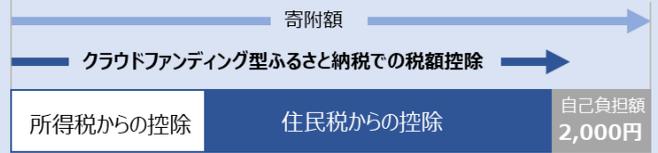
クラウドファンディング型ふるさと納税とは、寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに賛同いただける方からの寄附を募集する制度です。

ふるさと納税制度の一つであるため、**お礼の品**を受け取ったり、**所得税等の控除**を受けることができます。

寄附の流れ



◆税額控除の仕組み



クラウドファンディング型ふるさと納税のメリット

- ・ 寄附金の使い道が明確なため、寄附したプロジェクトに貢献しているという実感が得られます
- ・ 控除上限額内の2,000円を超える部分について、所得税・個人住民税から控除を受けられます
- ・ 通常のふるさと納税と同様にお礼の品を受け取ることができます（市外の方のみ）



寄附申込はこちらからお願いします
(令和6年10月3日～12月31日)

企業のみなさま…企業版ふるさと納税による支援の流れ

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地域再生計画に掲げた事業に対し、**企業^{※1}※2**が寄附を行った場合に、**法人関係税の優遇措置**が受けられる制度です。

地域の取組みに貢献しつつ、**最大で9割の法人関係税の軽減**を受けることができます。

寄附の流れ



※1 市内に本社（地方税法における「主たる事務所又は事業所」）が所在しないこと。

※2 外国法人を含め、青色申告書を提出している法人やNPO法人、一般社団法人も含む。

※3 1回につき10万円以上

企業版ふるさと納税のメリット

- ・ 法人関係税において、通常の損金算入(3割)に加え、最大で寄附額の6割の税額控除が受けられます
- ・ 感謝状の贈呈とともに本市のホームページ等に寄附企業名などを掲載させていただきます



企業版ふるさと納税の詳細は上の2次元バーコードからアクセスください

「古代蓮の里」とは



1970年代前半、公共施設を建設するための造成工事の際に掘削によって1,400年～3,000年前のものとして推定される「古代蓮」が偶然出土し、開花しているのが発見されました。

古代蓮の里は、「古代蓮」の自生地付近に公園として1995年に開園し、2001年に園内に地上50mの展望タワーを伴った古代蓮会館が開館しました。

古代蓮の里では毎年6月中旬～8月上旬にかけて、42種類、約12万株の蓮の花が見頃を迎えます。

また、隣接する田んぼで毎年実施される「田んぼアート」は、季節ごとに異なった色彩を見せてくれます。2015年には「最大の田んぼアート」としてギネス世界記録™に認定されています。



お問合せ

- ◆プロジェクトについて
- ◆寄附について

都市整備部都市計画課
総合政策部企画政策課

公園担当
公民連携担当

048-550-1550(直通)

048-556-1111(内線308)